

市民会館会場市民文化祭を終えて

新舞踊連盟

令和6年11月17日(日)に第28回新舞踊「花の会」を無事に終演する事ができました。

当日は市役所や色々な所で催し物が開催されておりましたので、集客面は期待していませんでした。開演して暫くすると舞台を終えた参加者から「思いの外、お客様が入っております」と連絡を受けました。出演者達は、頑張ってお稽古に励んできましたので、その成果を思いっきり発揮できたと思います。

今年も16歳から80歳以上の会員達が汗だくで舞台を努め、会場からは大きな拍手を頂けました。私も負けずに間違いながらも最後まで努める事ができ、会場から「日本一」「世界一」なんて予定通り声をかけて頂きました!・・・残念なのは、舞台スタッフさんとの打ち合わせ通りに照明や音響が上手く動いてくれていなかった事・・・来年に期待したいと思います。

新舞踊連盟も新型コロナウイルスの件で会員が減り、今回は26番という今までに無い曲数・・・早く終わって嬉しいやら悲しいやら、何と言ったら良いのでしょうか。今後は、若い方々にも「ダンスだけでなく、日本の踊りも良いものだよ!」とPRして行きたいと思います。

狭山市新舞踊連盟会長 藤寿 紫峰



民踊連盟



第42回狭山市民踊連盟発表大会が11月21日(木)に市民会館小ホールで開催されました。全国の日本民踊を総勢35名で、楽しく踊りました。この日のために、約3ヶ月間、会員みんな練習してきました。全20曲を無事に踊ることができたことは、会員全員の喜びでした。また、会場の皆さんと狭山の民踊と一緒に踊れたのも、楽しいひと時でした。

私たち民踊連盟は月に2回、中央公民館で練習をしています。全国の民踊を楽しく踊ることをモットーに活動しています。みんなで顔を合わせ、おしゃべりし、身体を動かすことは「健康で人生を送る」ことを実感するものです。また、音楽に合わせてみんなで踊ることは、とても心地よいものです。皆で振りを合わせることは、繰り返しの練習が大事です。それは大いに脳への刺激にもなっていると思います。これからも会員の皆さんが「健康で楽しく踊る」をモットーに、何よりつながりを大切に、そして、顔を合わせたら笑顔になる、また皆さんに会いたくなる会をめぐして活動を続けていきたいと思っています。

狭山市民踊連盟副会長 猪股かつ枝

三曲連盟

去る12月21日(土)、好天のもと、第47回三曲連盟定期演奏会を開催。お忙しい中、狭山市長小谷野剛氏始め市議会議長太田博希氏、教育長瀧島正司氏各位より三曲活動、伝統芸能の継承に対して励ましの言葉をいただきました。寒さも厳しさを増した中、ご来場下さいました大勢の皆様方には、最後まで温かいご声援を頂き心より御礼申し上げます。

プログラム第一部、各社中の成果発表の後 狭山市七夕の妖精「おりぴい」コーナー ～お箏で弾く こんな曲 あんな曲～ では、おりぴいによる「さくら」箏独奏に始まり、今年7月、狭山市文化団体連合会主催の青少年文化体験フェスタに参加した子供達による「きらきら星」の演奏、遊び唄で「通りゃんせ」や、今世界的に大バズリで、日本でのヒット曲No. 1 "Bling-Bang-Bang-Born"を和楽器の演奏と共に、おりぴいと子供達、舞台と客席が一体となってノリノリで踊り大いに盛り上がった。

第二部では指導者による古典、現代曲、尺八独奏など4曲の演奏で締めくくった。

狭山市三曲連盟会長 竹迫 ミナミ

《来年予告 第48回 定期演奏会 2025年10月26日(日) 狭山市市民会館小ホール》

